



BUN・KATSU

は はじめよう、 文化財の活用

毎回異なる国登録有形文化財などを会場に、ワークショップや建物見学、まち歩きなどを行います。所有者から保存と活用の取組み事例や課題についてのお話を伺いながら、活用を通して文化財を保存する力、いわゆる「文化BUN・KATSU」を学ぶ講座です。



令和5年度
文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)



水無瀬神宮(客殿) 重要文化財 (安土・桃山時代建築)

水無瀬神宮は、1240年に建立された水無瀬御影堂がその前身とされ、後鳥羽・土御門・順徳の三院を祀る。天王山の麓に位置する境内地は後鳥羽院の離宮水無瀬殿の旧跡と伝えられる。重要文化財の客殿は安土・桃山時代、茶室「燈心席(燈心亭)」は江戸時代前期、国登録有形文化財の本殿・神門及び築地塀は江戸時代前期、手水舎と神庫は大正時代、拝殿及び幣殿は昭和4年の建築とされる。境内には環境庁認定「名水百選」に選ばれた「離宮の水」があり、枝垂れ桜や紅葉などが美しく、「風と光と文化財の融合展」や「招福の風」のイベントなど、四季折々の見どころが多い。

2024

1/27 (土)

水無瀬神宮

三島郡島本町広瀬 3丁目 10-24

【定員】 24名

【参加費】 1500円

【集合】 13:15 (開始 13:30)

島本町立歴史文化資料館

三島郡島本町桜井 1丁目 3-1
(JR 京都線島本駅 東口すぐ)

・庭などを傷めるのでヒール等のご遠慮ください
・和室では必ず靴下をご着用、畳席で行いますので携帯用補助いすなどが必要な方はご持参ください。

—— 当日のスケジュール ——

13:15 **島本町立歴史文化資料館集合**
受付開始

13:30 資料館見学・まち歩き

14:30 所有者のお話と建物見学
ワークショップ (茶道)

16:30 終了

— 水無瀬神宮と離宮の水 × 茶道の文化 —

茶の湯にふれる



お茶の点て方や飲み方のほか、石臼を用いてお抹茶が出来る様子などの体験をしていただきます。

【講師】茶道裏千家業躰 松井 宗豊



1980年生まれ。2000年今日庵入庵。2010年坐忘斎御家元より茶名「宗豊」を授かる。2017年坐忘斎御家元より「業躰」への昇格を許される。独立行政法人日本芸術文化振興会文楽研修所講師。一般社団法人大阪青年会議所茶道同好会「茶楽会」講師。大阪、京都、東京にて教室を主宰。



----- まち歩き予定ルート※当日変更する場合があります

お申込み方法：下記まで、お早めにご予約ください。お申込みが定員に達しましたら、申込受付を終了いたします。

申込方法：[FAX] または [Googleフォーム] にてお申込みください

■ FAX
06-6943-7103

■ Googleフォーム
<https://forms.gle/nhjgFnyDYyhmDZ8Z7>



FAX用申込書

2024/1/27(土) 水無瀬神宮 茶の湯にふれる

氏名 _____ 同伴者名 _____

ご住所 ご自宅 勤務先・学校

〒 _____

E-mail / _____ TEL / _____ FAX / _____

開催についての注意事項

- * 申込受付は先着順。事務局からの受付完了メールまたはFAXが届いた時点で申込み確定とさせていただきます。
- * 参加費は当日現金にてお支払いください。(釣銭のいらないようにご協力お願いします)
- * 資材及び会場設営の都合上、ご連絡なしでのキャンセルは参加費1500円を申し受けますのでご了承ください。
- * ご記入頂いた情報は厳重に管理し上記以外の目的には用いません。

【お問い合わせ先】 公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階

電話番号：06-6947-1961

担当者：隅原 (E-mail: heritage@aba-osakafu.or.jp) 開催当日専用番号：080-3863-1961